

令和7年度 第4回総合教育会議

日 時：令和8年2月1日（日）午前10時
場 所：オアフクラブ学童保育

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

教育大綱の取組について

(1)放課後児童クラブの充実

(2)積極的な学校再編計画の推進

(3)健康・安全安心のための環境整備

【休憩：15分】

4 事業所PR

5 閉会

令和7年度第4回

海老名市総合教育会議

令和8年2月1日（日）

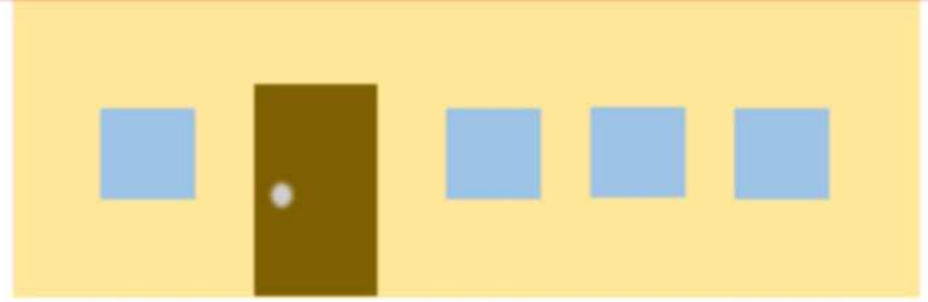
@オアフクラブ学童保育 海老名校

協議事項

◆教育大綱の取組について

- 1 放課後児童クラブの充実
- 2 積極的な学校再編計画の推進
- 3 健康・安全安心のための環境整備

協議事項1 放課後児童クラブの 充実について



海老名市教育委員会 学び支援課

①現在の状況

- ◆ 全て **民設・民営**
27法人が **71 (支援単位)** のクラブを運営
- ◆ 学童保育の登録人数は **約2,300人**
利用率は県内市で1位 (約32%)
- ◆ 民間のノウハウを活かした特色ある運営
(各種イベント、英語学習、送迎サービス等)



※数値は令和7年4月1日現在

①現在の状況

◆海老名市の主な取組み

- **補助金交付**による財政的支援
- 新規開設支援等による**待機児童対策**
- **運営状況検査**によるクラブの運営適正化、質向上
- 事業者との情報交換や連携
(情報交換会、研修や一時預かり事業の委託等)



②海老名市の取組み

- ◆ **社会経済情勢**の変化（物価高騰、利用ニーズの増加等）に伴い**予算額は毎年上昇**
- ◆ **必要なところに適切な予算を投じながら支援**



事業者に対する支援



物価高騰や賃金上昇に対応した補助金の交付

利用者に対する支援



保育料補助やクラブ開設支援による待機児童対策

施設の安全対策



耐震診断や改修等に対する支援

②海老名市の取組み



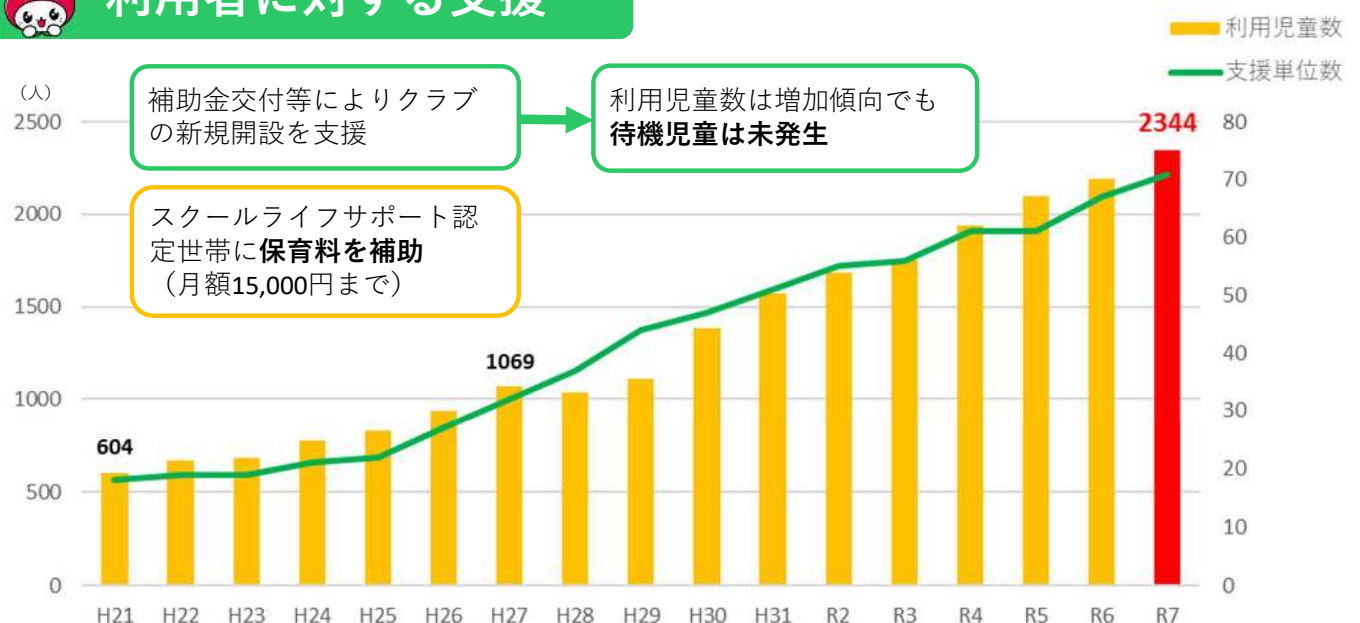
事業者に対する支援



②海老名市の取組み



利用者に対する支援



②海老名市の取組み



施設の安全対策

旧耐震基準の建物で運営している学童保育
クラブに補助金交付



- ・耐震診断費用
(木造上限20万円)
- ・耐震改修費用
(上限140万円)

安全な建物で
安心して過ごせる！



③これから

～みんなが安心して過ごせる
学童保育に～



- ◆ 常勤職員の配置促進に関する補助メニューの追加を検討
- ◆ 医療的ケア児の受入れ体制整備を検討
- ◆ 各種補助の継続等による支援

協議事項 2

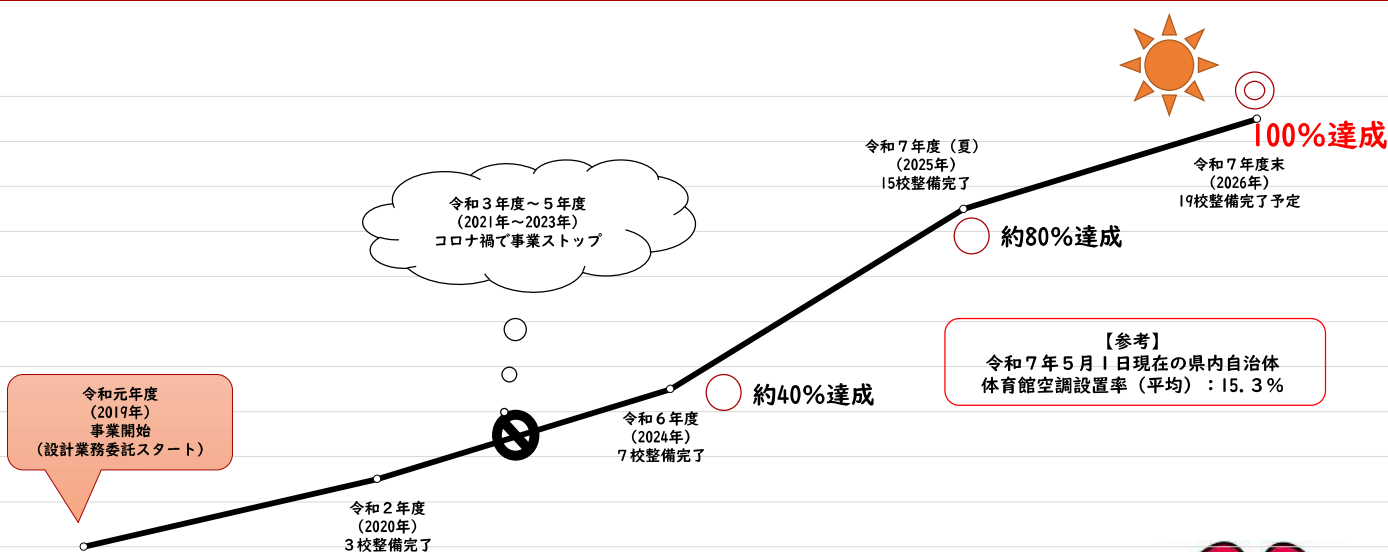
積極的な学校再編計画の推進について

教育総務課 施設係



海老名市教育委員会

全小中学校体育館空調整備状況



コロナ明けから一気に体育館への
エアコン整備が進んでいます。

海老名市教育委員会

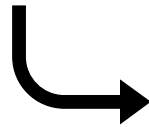


空調整備を含む改修工事前後の体育館

入口からフロアを見た景色



工事着工前



工事完成後

空調改修に加え、
内装改修（床・壁・天井）及び
外装改修も実施

完成後の様子は築40年以上
経過した建物とは思えない。



写真：今泉小学校

海老名市教育委員会

空調整備後の体育館（詳細）

体育館に整備したエアコン



写真：今泉小学校

改修後の外装



写真：今泉小学校

スロープ設置
(未設置校で整備)

サッシ交換
(断熱性能向上)

学習環境に加え、
避難所機能も向上

断熱性能向上による
空調機能の効率化



海老名市教育委員会

今泉小学校増築校舎概要

増築校舎の概要

- ・ 件名 海老名市立今泉小学校増築校舎整備事業
- ・ 選定方法 公募型プロポーザル方式
- ・ 受注者 株式会社 内藤ハウス 横浜支店 支店長 中込 幸利
- ・ 事業費 1,006,500,000円（税込）
- ・ 期間 令和7年9月30日 から 令和9年3月31日 まで
- ・ 構造 軽量鉄骨造2階建て
- ・ 規模 約2,800㎡
- ・ 場所 今泉小学校校庭
- ・ 諸室 普通教室、職員室分室、保健室分室、多目的室等
- ・ 共用部 トイレ、昇降口、倉庫等
- ・ 設備 冷暖房完備、エレベーター設置
- ・ その他 文部科学省「公立学校施設整備費国庫負担金」を活用

校舎増築に係る設計・施エプロポーザルには4者がエントリー。



海老名市教育委員会

今泉小学校増築校舎整備経過

「学校施設再整備計画」の想定（※1）を超える児童数増加（※2）が見込まれるため、令和9年度の供用開始を目指し、増築校舎の整備に着手しました。

※1 「学校施設再整備計画」（R6.8改訂）

- ・ 今泉地区は、今後10～20年間は人口が増加し、それに伴う児童生徒数増加への対応を行うこととしています。
- ・ 今泉小学校の児童数は令和12年度にピーク

※2 直近の児童数推計では、海老名駅西口地区の開発、35人学級の推進などにより、令和9年度に既存校舎の教室数が不足し、令和12年度にピーク（1,632人）となる見込みです。

スケジュール（予定含む）

- | | |
|-----------------|---------------|
| ・ 令和7年9月 | 本契約 |
| ・ 令和7年9月～令和8年3月 | 基本・実施設計、申請業務等 |
| ・ 令和8年4月～令和8年6月 | 国庫負担金申請 |
| ・ 令和8年6月～令和9年3月 | 建設工事等 |
| ・ 令和9年4月 | 供用開始 |

児童数は今後も当面増加見込み



海老名市教育委員会

今泉小学校増築校舎整備イメージ図



受注者がプロポーザルの際に
提案した増築校舎完成イメージ



海老名市教育委員会

その他の進捗状況

1 海老名中学校敷地移転

敷地移転候補地を検討していく上で、海老名市役所周辺にあり、今後、市街化編入が予定されている区域に近い「神奈川県立海老名高等学校」と海老名中学校区や海西中学校区の各小中学校を中心に、市立小中学校との連携強化を図るため、神奈川県教育委員会高校教育課との協議を開始。

2 有馬小学校及び有馬中学校の施設統合を含めた効率的な学校運営

令和8年度から小中学校における教育課程を見直し、小中学校双方の学校運営環境の充実を図っていく。



短期計画の着実な推進を図っています！！

海老名市教育委員会

健康・安全安心のための環境整備

児童生徒の登下校の 安全について



海老名市教育委員会
就学支援課 就学支援係

1 通学路に関する市の取組み

通学路安全対策委員会の設置

- 通学路の安全確保を目的として、市役所内の関係各課及び海老名警察署、厚木土木事務所東部センターで構成。
- 市内小中学校から提出された通学路改善要望に対し、対応の協議、対策の実施を行っています。

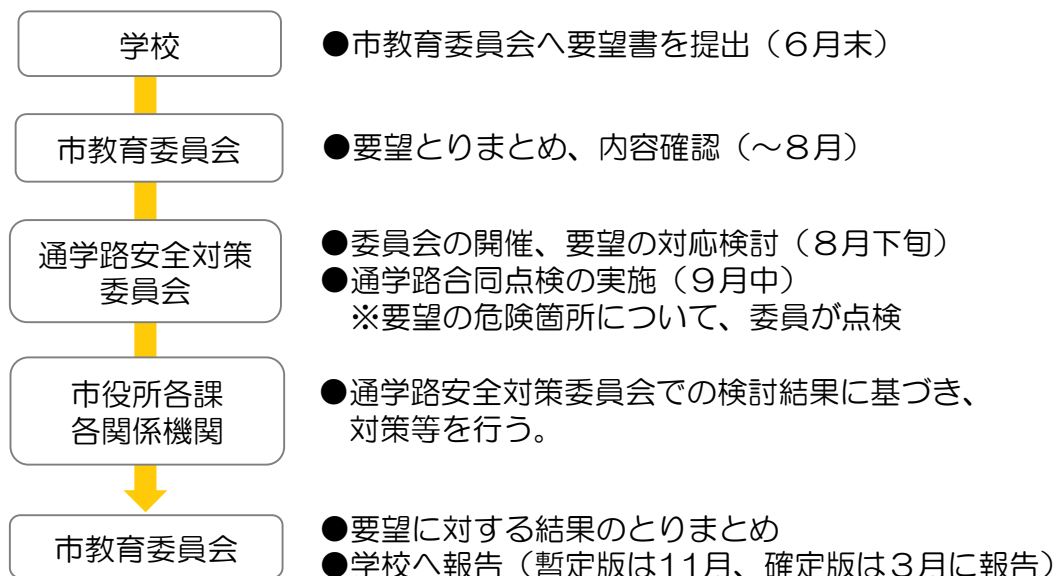
■組織委員■

海老名市（就学支援課・地域づくり課・道路管理課・道路整備課）
海老名警察署（交通課・生活安全課）
神奈川県厚木土木事務所東部センター



2

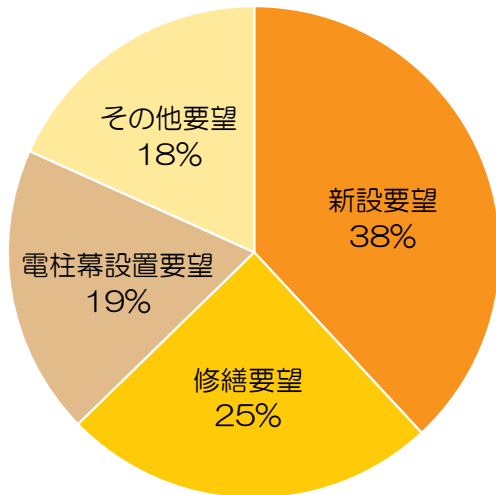
2 要望受付～対策までの流れ



3

3 令和7年度通学路改善要望数

要望の割合



要望件数



分類	令和7年度	令和6年度
新設要望	48	72 (12)
修繕要望	31	60 (38)
電柱幕設置等要望	24	20 (15)
その他	23	9 (5)
合計	126	161 (70)

()内は、R8.1.9時点の対応済み件数です。

- ※新設要望
白線・道路標示等の塗装、横断歩道の設置等
- ※修繕要望
歩道の修繕、白線・道路標示等の再塗装等

4 通学路改善要望対応例①

- 新設要望（令和6年度）
白線・道路標示の塗装（河原口5-5付近）



施工前



施工後

4 通学路改善要望対応例②

- 新設要望（令和6年度）
グリーンベルトの設置（杉久保南4-14付近）



施工前



施工後

6

4 通学路改善要望対応例③

- 新設要望（令和5年度）
横断歩道の設置（下今泉1-23-59付近）



施工後

7

食物アレルギーを有する児童生徒の 安全に配慮した取組みについて

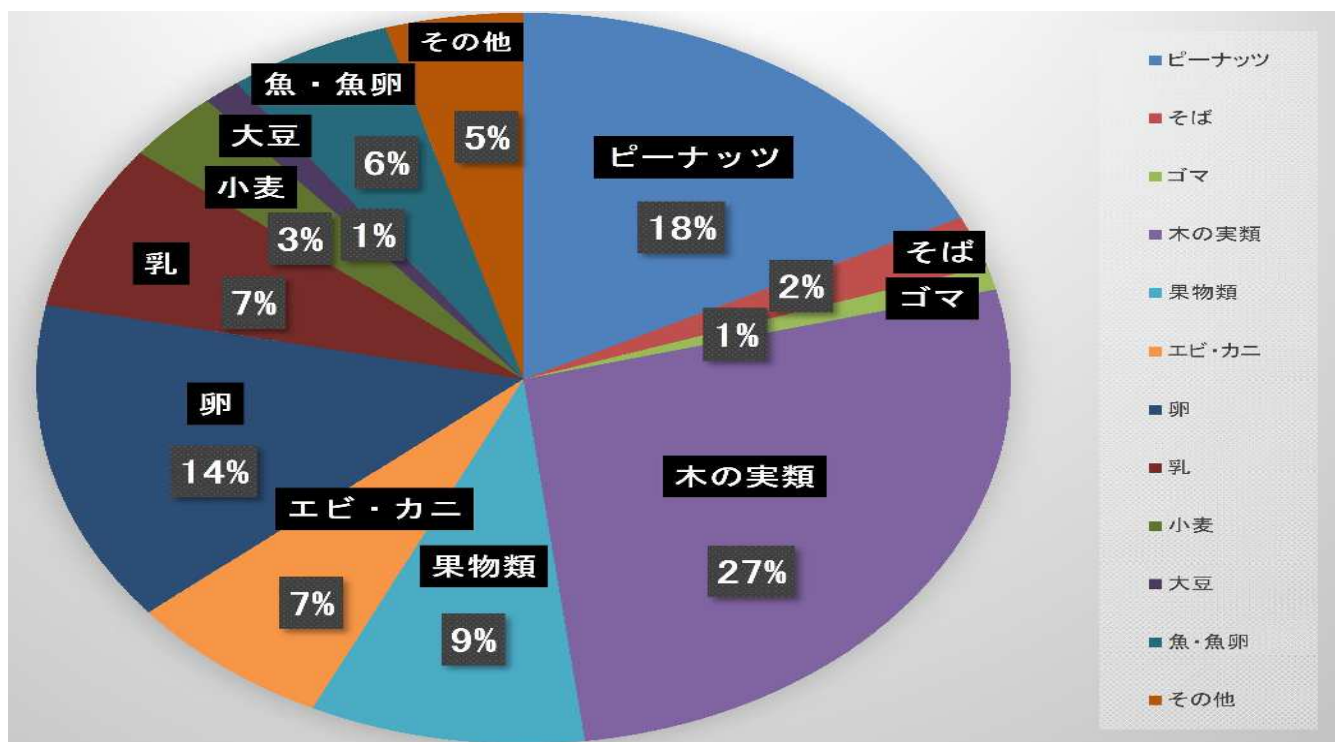
就学支援課健康給食係



令和7年度 食物アレルギーに係る管理状況 (令和7年12月現在, 単位: 人)

	全校 児童・生徒数		食物アレルギー 把握数	献立表対応	完全弁当対応	食物アレルギー 対応食
小学校	13校	7132	221	202	11	8
中学校	6校	3365	60	57	2	1
合計	19校	10497	281	259	13	9

令和7年度 食物アレルギー保有者におけるアレルゲン別割合



緊急対応が必要となる可能性がある児童生徒数

(令和7年12月現在, 単位: 人)

	アナフィラキシー有病者	エピペン所持者
小学校	61	55
中学校	22	18
合計	83	73

※アナフィラキシーとは
アレルギー反応により、一つの臓器にとどまらず、皮膚、呼吸器、
消化器、循環器、神経などの複数の臓器に重篤な症状が出現すること。

海老名市

食物アレルギー対応の手引き

令和6年1月
第二次改訂版

海老名市教育委員会

4 学校給食における食物アレルギー対応の共通理解

まず、改訂をすすめるにあたり、基本的な食物アレルギーに対応した給食の種類等についての表現の統一を図ることとし、次のように示します。海老名市立小中学校でも、共通理解が図れ、これを前提とした取り組みが徹底されるよう整理をします。

対応の種類

- **献立表対応**
メニューとアレルギー対応品を記載し、アレルギー対応品を別メニューで提供する。アレルギー対応品は、メニューの中から取り除く。またはアレルギー対応品とアレルギー対応品を別メニューで提供する。
- **弁当対応**
アレルギー対応品は、アレルギー対応品を別メニューで提供する。
- **弁当対応**
アレルギー対応品は、アレルギー対応品を別メニューで提供する。

食物アレルギー対応食

- **除去食**
アレルギー対応品は、アレルギー対応品を別メニューで提供する。
- **代替食**
アレルギー対応品は、アレルギー対応品を別メニューで提供する。

(引用：よくわかる食物アレルギー対応ガイドブック 2021 改訂版)


9 食物アレルギー個別面談と対応の決定

食物アレルギー個別面談は、保護者が学校生活管理指導表（様式4）を提出することで設定されます。なお、個別面談は、初回のみでなく対応の継続中において確認が必要な時や、エビベン®の使用法や心臓薬等の使用法などについて必要に応じて学校で行います。

面談参加者：保護者・（児童生徒）・校長（教頭）・担任（学年）・
栄養教諭・給食食育担当・教育委員会・栄養教諭等

【確認すること】

- アレルギー発症時の様子や、気づいたきっかけ、経過
- 過去に経験したアレルギー症状と程度、対応法
- 医療機関への受診状況
- 「学校生活管理指導表」の記載内容
- 内服薬やエビベン®の管理・保管方法
- 給食時における配慮
- その他留意事項



【理解を求めること】

- 食したことがないアレルギーと思われるものを学校で初めて食べることがないようにする。試す場合は、家庭で日中の医療機関が開いている安全な時間帯に行ってもらおう。
- 献立表対応は、保護者と学校の双方が責任を持って行う。
- 医師から除去を指示されているアレルギーに関しては、その食品を食さないように管理し、家庭から一部弁当持参または、完全弁当持参の対応をする。
- 食物アレルギー対応食提供による事故を防ぐため、対応できる範囲を説明する。

海老名市の食物アレルギー対応食は、共通調理場方式でも自校給食方式でも、乳と鶏卵の2つのアレルギーがある児童生徒のみが対象となる。

例)	アレルギー	食物アレルギー対応食提供の可否 (○/×)
① 乳・鶏卵		○
② 乳・鶏卵・小麦・ナッツ類		×
③ 乳だけ、鶏卵だけ		×

【情報共有の同意】

- 学校教職員・教育委員会・必要に応じて医療機関等で情報共有することについて同意を求める。
- アレルギーがあることを、クラス全体で情報共有することについて、同意を求める。

教育委員会・学校 → 保護者
学校給食対応の種別・協議・決定

16 緊急時対応への備え

食物アレルギーの個々に現れる症状は軽度のもからアナフィラキシーを伴うものまで様々です。学校では、人命救済を最優先とした対応をとれるよう、日頃からその手順を理解し、エビベン®の使用法や心臓薬等の使用法などを訓練して備えておく必要があります。海老名市では、「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を基に対応していきます。

- ① **緊急時に備えた準備**
 - 飲み薬、エビベン®等がすぐ取り出せるようにしておく。
 - 保護者とすぐに連絡がとれるように、連絡先の確認をしておく。
 - 備でずに対応できるように緊急体制について指示しておく。
 - 児童生徒に、いざというときに教室等の移動を求めるため、指示を聞いて協力できるようにしておく。
- ② **教職員研修・啓発**
 - 教職員の役割を明確にし、各教職員がそれを理解する。
 - 実際に起こることを想定した対応シミュレーション訓練や、エビベン®や心臓薬等（AEDの使用を含む）の実技訓練を可能な範囲で毎年行う。
- ③ **保護者・学校間の連携**
 - 進学や転学等の場合には、食物アレルギーを有する児童生徒に関する情報を共有する。
- ④ **消防機関・医療機関との連携**
 - 保護者同意のもと、消防機関や医療機関に情報を求められた場合には速やかに提供できるようにする。
 - 緊急時の対応を時系列に記録し、提供できるようにする。
- ⑤ **ヒヤリハット・事故報告**
 - 学校は、重大な事故までにはなっていないことでも、その手前で起きたこと、防げたであろうことを振り返り、改善の方策を検討する。
 - ヒヤリハット事例は、詳細と改善策について個人が特定されることがないように配慮し、市内小中学校において必要に応じて情報共有する。
 - 保護者と学校が情報を共有し、適宜相談、対応をする。
 - 市教育委員会へ学校長から報告をする。

救急救命講座（教職員シミュレーション研修）



給食中に生徒が倒れました！

すぐ救急車を呼びましょう！



Aさんは、ナッツを食べたんだね！？

エピペンを打ちます！！

どのように観察をしますか？



なるほど。食物アレルギーのナッツを食べたのですね。



救急隊が到着！代わります！

心肺停止と判断したらすぐに
CPR開始します！

救急救命講座は毎年
全ての学校で行われています。

